

## 本部拠点区分 事業活動計算書

(自) 令和 3年 4月 1日 (至) 令和 4年 3月 31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収	経常経費寄附金収益	65,000	220,000	△155,000
	益	サービス活動収益計(1)	65,000	220,000	△155,000
	費用	人件費	69,000	51,000	18,000
		役員報酬	69,000	51,000	18,000
		事務費	444,000	441,660	2,340
		旅費交通費	444,000	441,000	3,000
		手数料	0	660	△660
サービス活動費用計(2)	513,000	492,660	20,340		
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△448,000	△272,660	△175,340	
サービス活動外増減の部	収	受取利息配当金収益	65	267	△202
	益	サービス活動外収益計(4)	65	267	△202
	費用				
		サービス活動外費用計(5)	0	0	0
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	65	267	△202	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△447,935	△272,393	△175,542	
特別増減の部	収				
	益	特別収益計(8)	0	0	0
	費用	拠点区分間繰入金費用	13,500,000	20,500,000	△7,000,000
特別費用計(9)		13,500,000	20,500,000	△7,000,000	
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△13,500,000	△20,500,000	7,000,000	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△13,947,935	△20,772,393	6,824,458	
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	15,458,290	36,230,683	△20,772,393
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,510,355	15,458,290	△13,947,935
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
		その他の積立金積立額(16)	0	0	0
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,510,355	15,458,290	△13,947,935